

「令和6年度（2024年度）学校評価」自己評価

項目	番号	評価の観点	評定					平均
			4	3	2	1	無回答	
学校経営	1	学校教育目標や経営方針、経営の重点等を踏まえた、各学部、分掌部等の計画が立てられている。	12	37	1	0	0	3.22
	2	各学部、分掌部の重点に沿った業務推進がなされている。	13	35	2	0	0	3.22
	3	「私の時間」の創設により、働き方改革や専門性の向上に役立った。	3	15	19	13	0	2.16
	4	教材研究、授業（指導）反省、指導担当者間での話合いの時間が確保されている。	8	28	11	3	0	2.82
	5	困ったときや分からないことを、気軽に相談し合える環境や体制が整っている。	21	26	3	0	0	3.36
	6	分掌部の業務内容や量は適切に配置されていて、分掌部による偏りはない。	5	32	12	1	0	2.82
	7	各学部や分掌部間の情報共有や連携が図られ、組織的な業務が行われている。	8	34	6	2	0	2.96
	8	学校予算は、教育活動の必要性、緊急性、優先度に基づいて計画的に執行されている。	6	37	6	1	0	2.96
	9	学校の教育活動について、保護者や地域に分かりやすい内容で発信し、理解啓発を行っている。	9	39	2	0	0	3.14
	10	I C Tを活用した授業が充実している。	5	29	15	1	0	2.76
教育課程	11	小・中学部、高等部のつながりや生活年齢に応じた教育課程の編成ができています。	5	33	12	0	0	2.86
	12	授業時数、日課、週時程表は児童生徒の実態に応じたものになっている。	5	34	11	0	0	2.88
	13	いじめの対応や不登校対応等、生徒指導を組織的にしている。	5	43	2	0	0	3.06
	14	授業の導入時に、児童生徒に対し、授業のめあてを確認してから指導を行っている。	14	32	4	0	0	3.20
	15	児童生徒一人一人の障がいに基づく種々の困難の改善に向けた自立活動を進めている。	9	40	1	0	0	3.16
	16	道徳教育の全体計画を踏まえ、児童生徒の障がいの状態や発達の段階に応じた道徳教育を推進している。	4	43	2	1	0	3.00
	17	児童生徒の主体的な学び、協働的な学びを進めるための学習の改善・充実に取り組んでいる。	13	35	2	0	0	3.22
	18	学習評価の改善・充実を進めている。	5	43	2	0	0	3.06
	19	学校周辺の地域資源を有効に活用した教育が行われている。	15	34	1	0	0	3.28
教育活動・指導	20	学園職員や保護者に児童生徒の目標、指導内容・方法、手立てを分かりやすく説明している。	15	33	2	0	0	3.26
	21	卒業後の生活を見据えた指導を行うとともに、保護者に進路や福祉制度について分かりやすく伝えている。	12	35	3	0	0	3.18
	22	児童生徒の手本となるように、ふさわしい言動、身なり、服務規律の遵守を常に意識して行動している。	14	35	1	0	0	3.26
	23	教材費や行事費を効果的かつ計画的に使っている。	14	33	3	0	0	3.22
研修・専門性	24	知的障がいや自閉症等の障がい特性について理解している。	13	37	0	0	0	3.26
	25	主体的に研修に取り組み、自立活動の目的や意義を理解して指導している。	8	40	2	0	0	3.12
危機管理	26	児童生徒の個人情報適切に管理している。	25	23	2	0	0	3.46
	27	危機管理意識をもち、緊急時に備えた訓練を行い、児童生徒を安全な場所に避難させることができる。	15	35	0	0	0	3.30
	28	児童生徒の熱中症の対応等、健康管理や安全管理を組織的に行っている。	20	27	3	0	0	3.34